

第 19 回基準諮問会議

2013年11月20日、財務会計基準機構（FASF）において第19回基準諮問会議（議長 野崎邦夫住友化学(株)常務執行役員）を開催し、審議が行われた。それぞれの詳細な内容については、財務会計基準機構ホームページ（<https://www.asb.or.jp/>）にて「議事概要」、「議事要旨」（会員限定）を公開していますので、ご覧ください。

（審議事項）

1. テーマ提言について

新規テーマについて、それぞれの対応についての審議を行った。

(1) 前回までの基準諮問会議に提案されたテーマ

① 会計基準レベル

「継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発」については、次回以後の基準諮問会議で審議をすることとなった。

「完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理」については、実務対応専門委員会において評価を継続中である。

② 実務対応レベル

「繰延税金資産の回収可能性（JICPA 監査委員会報告第66号関連）」については、企業会計基準委員会（ASBJ）の新規テーマとして提言し、また、『『企業結合に関する会計基準』に係る条件付取得対価の取扱い』については、優先度は高くないものの ASBJ の新規テーマとして提言することとなった。

「リストラクチャリングに関連する引当金」及び「早期割増退職金の会計処理」については、ASBJ において調査を継続中である。

(2) 今回の基準諮問会議で新たに提案されたテーマ

「リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームに係る会計上の取扱い」については、緊急性が高いこと、会計基準に関する大きな改訂ではないことを踏まえ、実務対応専門委員会の評価を経ずに、ASBJ に新規テーマとして提言することとなった。

「商品デリバティブ取引に係るヘッジ会計関連規定」については、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼することとなった。

2. 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

西川 ASBJ 委員長より ASBJ の最近の活動状況についての報告、小賀坂 ASBJ 副委員長より IFRS のエンドースメント手続についての説明が行われ、その後、意見交換が行われた。